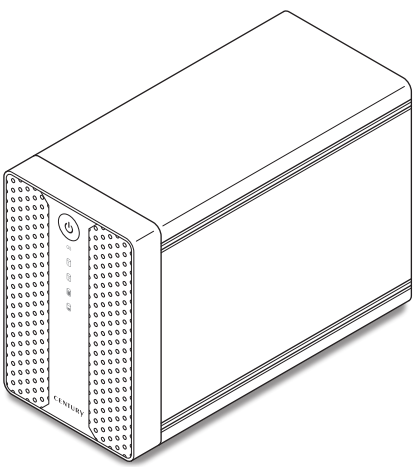
Century Corporation User's Manual

シンプルNAS BOX PLUS 2BAY

CSS35NAS2B

取扱説明書



CENTURY

CSS35NAS2B Manual 2016/01/21

【もくじ】

ごあいさつ 4

はじめに 5

■安全上のご注意 …… 5
■制限事項 …… 10
■ご使用の前に …… 11

製品仕様 12

製品内容 13

各部の名称 14

サーバー名について 15

対応HDD 16

対応スマートフォン 17

対応OS/PC/ブラウザ 18

HDDの組み込み方法 20

■HDDを接続する前に …… 20
■組み込みの前に …… 20
■HDDの取り付け方 …… 21

基本設定（LAN接続） 24

■管理画面への接続方法 …… 24

電源の投入方法 25

■電源の入れ方について …… 25
■電源の切り方について …… 25

リセット方法 26

■リセットの手順 …… 26

RAIDの設定方法 28

■RAID 1（ミラーモード） …… 29

先頭ページへ

RAIDではない他のモードの説明 30

■RAID 0(ストライピングモード) 30
■JBOD(コンバインモード) 31

RAIDのリビルド・対処方法 32

■HDDが故障した場合 32
■対処方法 33

設定画面の開き方 34

■Windowsの場合 34
■Macの場合 35
■インターネットの場合 36

ホーム画面の説明 37

NASの設定 38

■ログイン方法 38

設定画面 39

■設定画面の操作方法 39
■システム情報 40
■インターネット 42
■メンテナンス 44
■サーバー設定 47

スマートフォンでの使い方 52

■iPhone、iPad、iPod touchの場合 52
■Androidの場合 56

活用方法例 60

■ネットワークストレージとして使用する：Windows 7の場合 60
■ネットワークストレージとして使用する：Macの場合 62
■iTunesサーバーとして使用する 64
■メディアサーバーとして使用する 64
■USB外付けHDDとして使用する 65

FAQ 66

サポートのご案内 70

【ごあいさつ】

このたびは**「シンプルNAS BOX PLUS 2BAY(CSS35NAS2B)」**をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本書には、重要な注意事項や本製品のお取り扱い方法が記載されています。
ご使用になる前に本書をよくお読みのうえ、本製品を正しく安全にお使いください。
また、お読みになったあとも大切に保管し、必要に応じてご活用ください。

【はじめに】

安全上のご注意〈必ず守っていただくようお願いいたします〉

○ご使用の前に、安全上のご注意をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

○この項に記載しております注意事項、警告表示には、使用者や第三者への肉体的危害や財産への損害を未然に防ぐ内容を含んでおりますので、必ずご理解のうえ、守っていただくようお願いいたします。

■次の表示区分に関しましては、表示内容を守らなかった場合に生じる危害、または損害程度を表します。

⚠警告	この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性を想定した内容を示します。
⚠注意	この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害ないし物的損害を負う可能性を想定した内容を示します。

	注意指示事項		禁止(禁止行為)
	分解禁止		濡れた手での接触禁止
	水濡れ禁止		電源プラグを抜く
	接触禁止		ケガに注意

【はじめに】

安全上のご注意〈必ず守っていただくようお願いいたします〉

⚠警告

煙が出る、異臭がする、異音がする場合は使用しない

煙が出る、異臭がする、異音がするときは、すぐに機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
異常状態のまま使用すると、故障、火災、感電の原因となります。

機器の分解、改造をしない

機器の分解、改造をしないでください。
内部に手を触れると、故障、火災、感電の原因となります。
点検、調整、修理は、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

機器の内部に異物や水を入れない

機器の内部に異物や水が入った場合は、すぐに機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
異物が入ったまま使用すると、故障、火災、感電の原因となります。

不安定な場所に機器を置かない

ぐらついた台の上や傾いた場所、不安定な場所に機器を置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、故障、けがの原因になることがあります。

電源の指定許容範囲を超えて使わない

機器指定の電圧許容範囲を必ず守ってください。
定格を越えた電圧での使用は、故障、火災、感電の原因となります。

⚠警告

電源コード、接続コードに関しての注意事項

以下の注意点を守ってご使用ください。
被膜が損傷したり、故障を招くだけではなく、ショートや断線で加熱して、火災、感電の原因になることがあります。

- 電源コードを無理に曲げる、ねじる、束ねる、はさむなどの行為をしないでください。
- コードの上に機器本体や重い物を置かないでください。
- ステープル、釘などで固定しないでください。
- 足を引っかけるおそれのある場所には設置しないでください。
- 電源プラグはホコリや水滴がついていないことを確認し、根元までしっかり差し込んでください。
- ぐらぐらするコンセントには接続しないでください。

雷が鳴り出したら機器に触れない

雷が発生しそうなときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
また、雷が鳴りだしたら電源コードやケーブル、機器に触れないでください。感電の原因となります。

ぬれた手で機器に触れない

ぬれたままの手で機器に触れないでください。感電や故障の原因になります。

体に異変が出たら使用しない

体に異変が出た場合は、ただちに使用をやめて、医師にご相談ください。
機器に使用されている塗料や金属などによって、かゆみやアレルギーなどの症状が引き起こされることがあります。

【はじめに】

安全上のご注意〈必ず守っていただくようお願いいたします〉

⚠注意

設置場所に関しての注意事項

以下のような場所には機器を置かないでください。故障、火災、感電の原因となります。

- 台所、ガスレンジ、フライヤーの近くなど油煙がつきやすいところ
- 浴室、温室、台所など、湿度の高いところ、雨や水しぶきのかかるところ
- 常に5℃以下になる低温なところや40℃以上の高温になるところ
- 火花があたるところや、高温度の熱源、炎が近いところ
- 有機溶剤を使用しているところ、腐食性ガスのあるところ、潮風があたるところ
- 金属粉、研削材、小麦粉、化学調味料、紙屑、木材チップ、セメントなどの粉塵、ほこりが多いところ
- 機械加工工場など、切削油または研削油が立ち込めるところ
- 食品工場、調理場など、油、酢、揮発したアルコールが立ち込めるところ
- 直射日光のあたるところ

⚠注意

長期間使用しない場合は接続コードを外してください

長期間使用しない場合は、安全および節電のため、接続コードを外して保管してください。

機器を移動するときは接続コード類をすべて外してください

移動する際は、必ず接続コードを外して行ってください。
接続したままの移動は故障の原因となります。

小さいお子様を近づけない

小さいお子様を機器に近づけないようにしてください。
小さな部品の誤飲や、お子様が機器に乗ってしまうなど、けがの原因になることがあります。

静電気にご注意ください

機器に触れる際は、静電気にご注意ください。
本製品は精密電子機器ですので、静電気を与えると誤動作や故障の原因となります。

【はじめに】

制限事項

- 本製品を使用するによって生じた直接、間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、など人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。このような環境下での使用に関しては一切の責任を負いません。
- ラジオやテレビ、オーディオ機器の近くでは誤動作することがあります。
  必ず離してご使用ください。
- 本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内での使用を前提としており、日本国外で使用された場合の責任は負いかねます。
- 本製品はSATA HDD専用です。
  パラレルATA(IDE)HDDは使用できません。

ご使用の前に

- 本書の内容に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書は万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきのことがありましたら、弊社サポートセンターまでご連絡いただきますようお願いします。
- 本製品を使用することによって生じた、直接・間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
- 「Windows」はMicrosoft Corporation の登録商標です。
- 「Android」、「Google Play」はGoogle inc. の商標および登録商標です。
- 「Mac」、「iPhone」、「iPad」、「iPod touch」、「iTunes」、「App Store」はApple inc. の登録商標です。
- 「Java」、「JRE」はSun Microsystems, inc. の登録商標です。
- 記載の各商品および製品、社名は各社の商標ならびに登録商標です。
- 改良のため、予告なく仕様を変更することがあります。
- イラストと実際の商品とは異なる場合があります。
- 記載の各商品および製品、社名は各社の商標ならびに登録商標です。

注意

本製品はインターネット経由でのデータアクセスが可能になっております。この機能は便利な反面、見知らぬ第三者からのアクセスを許す危険性も秘めております。
この機能は出荷時の設定では有効になっていますが、ご使用にならない場合は、設定で停止することができます（P.43）。お客様のご利用状況によって、有効/無効を設定してください。
また、有効にしている場合は、guestアカウントにパスワードをかけて独自のアカウントを作成し、そのアカウントでアクセスしてください（P.40）。

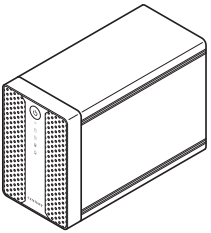
【製品仕様】

■型　　番：シンプルNAS BOX PLUS 2BAY
■商　　品　　名：CSS35NAS2B
■HDD側インターフェイス：SATA1/2（1.5Gbps/3.0Gbps）
■ホスト側インターフェイス：【LAN】10/100/1000Base-T Auto MDI/MDI-X
【USB】USB3.0 準拠
■冷却ファン仕様：4cm角、2,800rpm ±15%、ノイズレベル 17.0dB
（冷却ファン単体での計測値）
■寸　　法：幅81mm × 高さ123mm × 奥行177mm（突起部除く）
■重　　量：約830g（ドライブ含まず）
■温度・湿度：温度5℃～35℃・湿度20%～80%
（結露しないこと、接続するPCの動作範囲内であること）
■ACアダプター仕様：【AC入力】100V～240V MAX　【DC出力】12V 5A

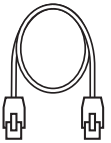
※本製品にHDDは含まれておりません。

【製品内容】

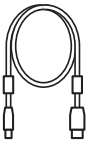
- □CSS35NAS2B 本体
- □専用LANケーブル
- □専用USB3.0ケーブル
- □専用ACアダプター
- □専用ACケーブル
- □HDD固定用ネジ
- □ユーティリティーCD-ROM
- □取扱説明書/保証書（本書）



CSS35NAS2B 本体



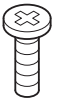
専用LANケーブル



専用USB3.0ケーブル

専用ACアダプター

専用ACケーブル



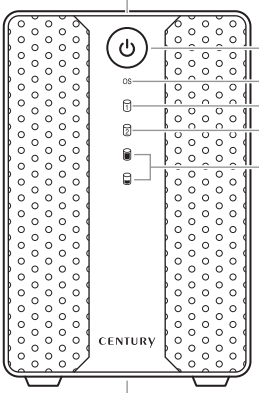
HDD固定用ネジ

ユーティリティーCD-ROM

取扱説明書／保証書

【各部の名称】

前面・底面



前面LEDの状態

■パワーLED
- 点灯：電源ON
- 点滅：データアクセス中

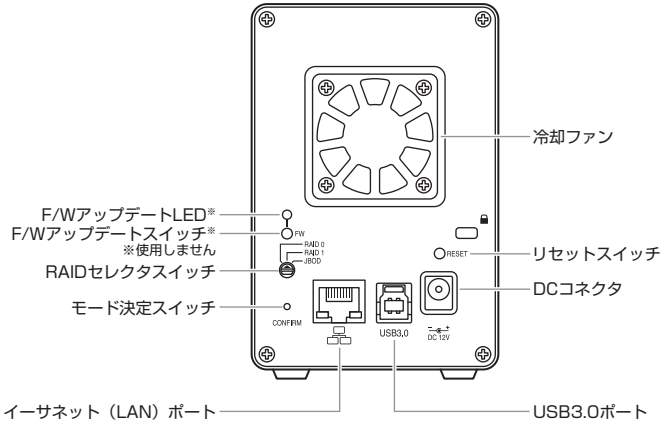
※点滅するのはUSB3.0接続時のみ(P.65)となります。
LAN接続時は点滅しません。

■ステータスLED
- 緑点灯：システム準備完了
- 緑点滅：シャットダウン中
- 赤点滅：システムエラー／システム起動／シャットダウン中

■使用容量インジケータ(※1)
50%単位でHDDの空き容量を表示します。(※2)

※1：表示はだいたいの目安です。
正確な空き容量は、設定画面(P.39)の[ハードディスク情報]などをご覧ください。

背面



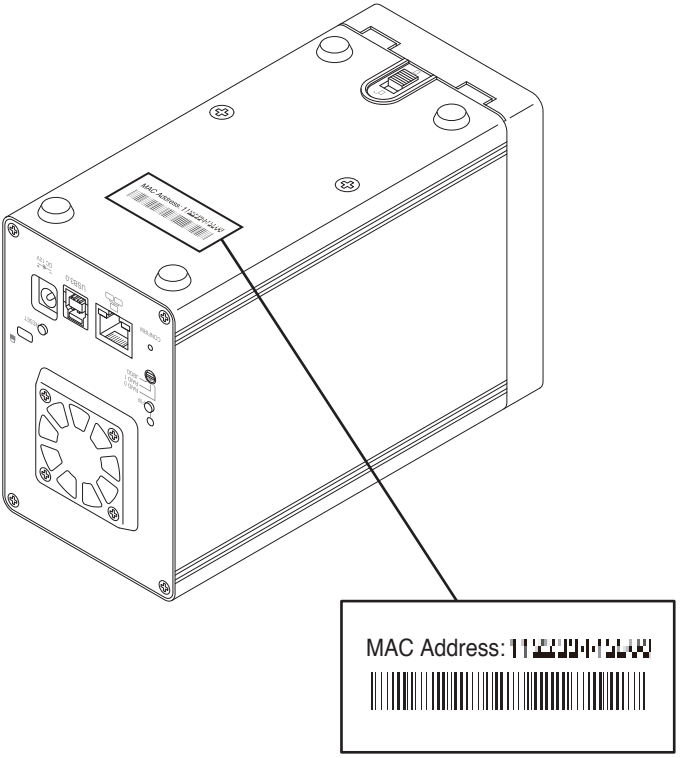
先頭ページへ

【サーバー名について】

インターネットからのホーム画面ログインや、スマートフォンからのログインに利用するサーバー名は、出荷時設定ではMACアドレスに設定されています。

※MACアドレスは本体底面に貼り付けてある数字です。

［ホーム画面］→［設定］→［設定画面］→［名称設定］の「ホスト名」を変更することで変えることが可能です（P.40）。



【対応HDD】

■SATA1/2/3仕様、容量4TBまでの3.5インチHDD

※PATA(IDE)のHDDは接続できません。
※4TBを超える容量のHDD(5TB～)はご使用になれません。
※USB接続、Windows XPでご使用の場合は、OS側の制限により2TBより大きいサイズのHDDを扱うことができません。

• ファイルフォーマット → exFATのみ
※USB接続で利用する場合でも、初回時にLAN接続を行い、HDDを初期化する必要があります。

注意

• HDDを2台別々に認識して利用することはできません。
• HDD1台でも利用可能です(HDD増設時は初期化が必要です)。

【対応スマートフォン】

■iOS 4.3 以降を搭載した iPhone、iPad、iPod touch
■Android OS 2.2 以降を搭載したスマートフォン

※専用アプリ「MyiSharing CloudSync」は、「App Store」または「Google Play」からダウンロードする必要があります。
※アプリは無料ですが、通信料は別途かかります。
※専用アプリ「MyiSharing CloudSync」以外でのアプリによるアクセスはサポート外となります。

HDDの保護のために、未使用時は本製品からHDDを取り外して保管してください。
SATA HDDの接続コネクタにはメーカーの推奨するHDDの着脱保証回数が設定されております。
この回数を超えるとHDDとしての品質を保証できませんので、着脱する回数は必要最小限にてご使用ください。
また、本製品の構造上、HDDに擦り傷が付く場合があります。あらかじめご了承ください。

※製品の性質上、すべての環境、組み合わせでの動作を保証するものではありません。

本製品からのOS起動に関して
本製品からのOS起動はサポートしておりません。

【対応OS/PC/ブラウザ】

Windows

【対応OS】

■Windows 10/Windows 8.1(8)/Windows 7/Windows Vista/
Windows XP(32bit SP3)

【対応PC】

■LANポート(Gigabit Etherポートを推奨)とUSBポート(3.0を推奨)を備えたWindows PC

【対応ブラウザ】

■Internet Explorer 7 以降推奨

【注意事項】

※記載のないOSに関してはサポート対象外となります。
※Windows RT、Starter Edition、Embedded は動作対象外となります。
※Windows Updateにて最新の状態(Service Pack含む)にしてご使用ください。
最新ではない環境での動作はサポート対象外となります。
※LANとUSBの同時接続は行えません。
※ジャンボ・フレーム、ジャンボ・パケットには対応しておりません。
※NAS検索ツールは「JRE」が必要です。
インストールする方法は、
http://www.java.com/ja/
をご覧ください。

■動作確認済みUSB3.0ホストインターフェイス

- Intel H87チップセット内蔵USB3.0ホストコントローラ
- Intel Z77チップセット内蔵USB3.0ホストコントローラ
- ETron EJ168 USB3.0ホストコントローラ
- Frescologic FL1100 USB3.0ホストコントローラ
- Asmedia Asm 1042 USB3.0ホストコントローラ
- RENESAS(NEC) μPD72020x USB3.0ホストコントローラ
- VLI VL800 USB3.0ホストコントローラ

※各ホストコントローラのドライバは最新のものをご使用ください。

Mac

【対応OS】

■Mac OS 10.11.2/10.10.5/10.9.5/10.8.5/10.7.5/10.6.8

【対応PC】

■USB3.0インターフェイスポートを標準搭載したMacBook Pro、MacBook Air

■USB2.0インターフェイスポートを搭載したintel Mac

【対応ブラウザ】

■Safari 4 以降推奨

【注意事項】

※USB3.0インターフェイスカード経由での動作は保証対象外となります。
※USB2.0ポートを標準搭載していない機種はサポート対象外となります。

【HDDの組み込み方法】

HDDを接続する前に

HDDを接続するまで、電源プラグはコンセントから抜いておいてください。
コンピュータの電源が入った状態で作業を行うと、感電などの事故や、故障の原因となります。

- HDD接続の際には、静電気に十分注意してください。
  人体に滞留した静電気が精密機器を故障させる原因になることがあります。
  作業の前に、金属のフレームなどに触れて放電するか、静電気防止バンドなどをお使いください。

組み込みの前に

- HDDおよび本製品の基板部は精密機器ですので、衝撃には十分ご注意ください。
- HDD接続の際には、静電気に十分注意してください。
  人体に滞留した静電気が精密機器を故障させる原因になることがあります。
  作業の前に、金属のフレームなどに触れて放電するか、静電気防止バンドなどをお使いください。

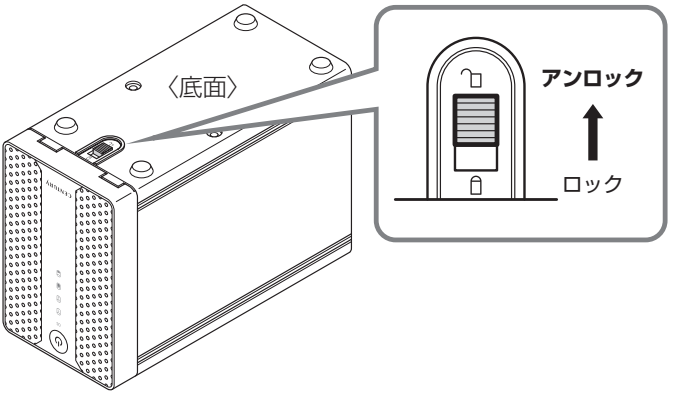
フレームやHDDコネクタ、基板で手を切らないようにご注意ください。

◆注意

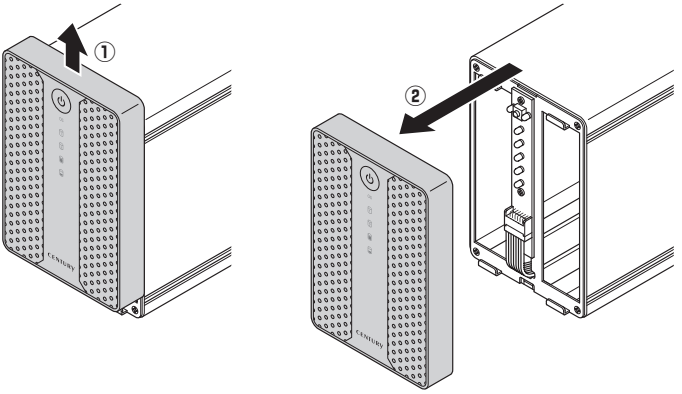
本製品は組み込み後、LAN接続にてHDDを初期化する必要があります。
すでにデータの入ったHDDを接続する場合は、データをあらかじめ別のメディアにバックアップしておく必要があります。

HDDの取り付け方

1. 本体を裏返し、底面にあるフロントカバーロックがアンロック（🔓マーク）の位置にあることを確認します。



2. フロントカバーを取り外します。
カバーを少し上に持ち上げ（①）、手前に出します（②）。



⚠注意　• HDDやフレーム等、各金具の端で手を切らないようにご注意ください。

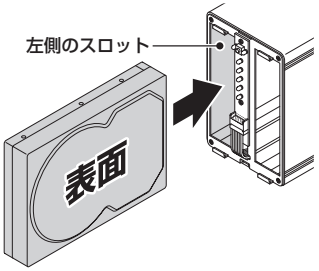
【HDDの組み込み方法】

HDDの取り付け方（つづき）

3. HDDの向きに注意して、それぞれ本体にセットします。

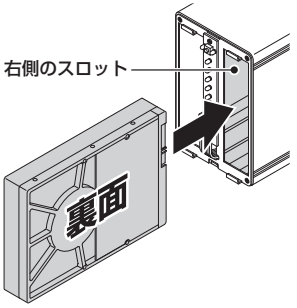
左側への組み込み

HDDを左側のスロットへ組み込む場合は、HDDを下図の向きにして確実にセットします。



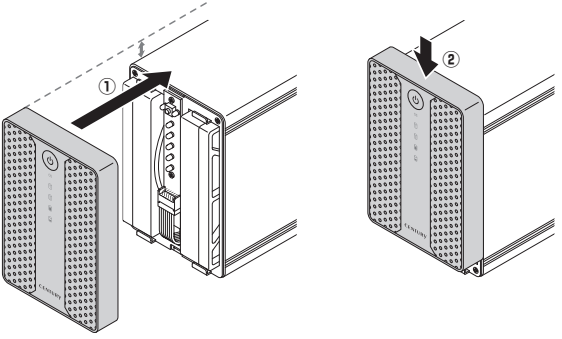
右側への組み込み

HDDを右側のスロットへ組み込む場合は、HDDを下図の向きにして確実にセットします。



※正面から見て右側がHDD1、左側がHDD2となります。

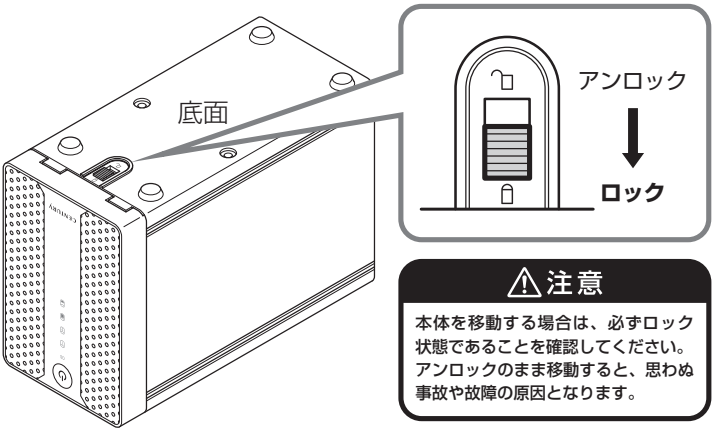
4. フロントカバーを取り付けます。
カバーを本体の少し上からかぶせ（①）、下に下げます（②）。



■注意！
HDDを装着する際には、HDDの向きとSATAコネクタの位置に注意してゆっくり差し込んでください。
力まかせに押し込むと破損や故障の原因となります。

⚠注意　• HDDやフレーム等、各金具の端で手を切らないようにご注意ください。

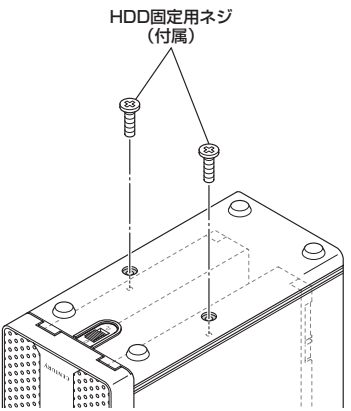
5. 本体を裏返し、フロントカバーロックをロック(🔒マーク)の位置にセットします。



⚠注意

本体を移動する場合は、必ずロック状態であることを確認してください。アンロックのまま移動すると、思わぬ事故や故障の原因となります。

6. 付属のHDD固定用ネジ2本を取り付けます。



※HDDを取り外す際は、逆の手順をたどってください。

⚠注意　• HDDやフレーム等、各金具の端で手を切らないようにご注意ください。

【基本設定（LAN接続）】

管理画面への接続方法

※LANとUSBを両方使用する場合は、必ず最初にLANの設定およびHDDのフォーマットを行ってください。

設定はブラウザの管理画面から行います。

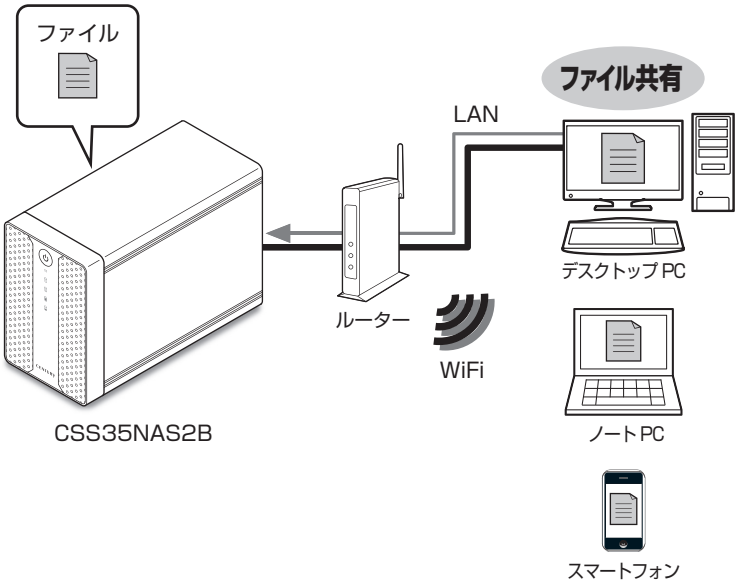
- LANケーブルを接続し、既存のネットワークに接続してください。
- 本製品はIPアドレスをDHCPサーバー※から自動的にIPを取得しますが、DHCPサーバーのないネットワークに接続する場合は、あらかじめPCと直接接続をして、IPアドレスを設定してから、ネットワークに接続してください。

※DHCPサーバー：IPアドレスを自動的に割り振るサーバー。ルータやPPPoEモデムに搭載されています。

＊通常のインターネット接続にルーターを使用している環境は、DHCPサーバーが有効なことがほとんどです。

＊LANとUSBの同時接続はできません。

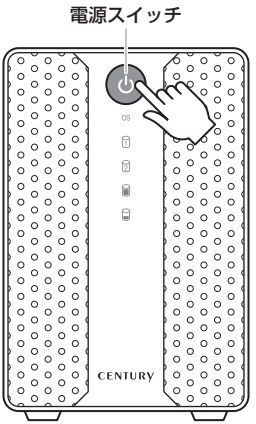
〈接続例〉



【電源の投入方法】

電源の入れ方について

電源OFFの状態で本体前面の電源スイッチを押すと、電源がONになります。



電源の切り方について

- 電源をOFFにする場合、本体前面の電源スイッチを**5秒以上**押し続けます。
- 本体前面のステータスLEDが点滅し、終了処理が行われ、電源がOFFになります。
  また、長時間ご使用にならない場合や、停電の可能性がある場合は電源をOFFにし、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

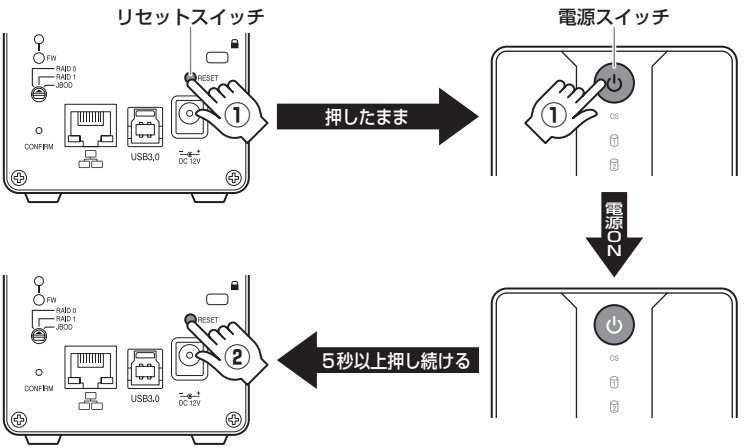
【リセット方法】

本体背面のリセットスイッチは、管理者パスワードを忘れてしまった時や、設定を出荷時設定に戻したいときに使用します。
※設定を初期化してもHDD内のデータはそのまま残ります。
※SMBとFTPユーザーは、リセットしても削除されません。
※出荷時設定の管理ユーザーアカウントは、
●ユーザー名：admin
●パスワード：admin
です。

リセットの手順

①**「リセットスイッチを押したまま」**電源スイッチを押し、電源をONにします。
②電源がONになってから**「5秒以上リセットスイッチを押し続け」**ます。

これで設定は工場出荷設定に戻ります。
※登録したアカウント(P.48)は消去されません。



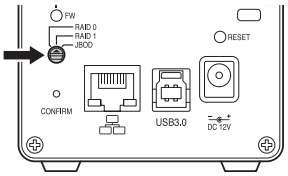
【RAIDの設定方法】

設定を変更する場合は、次の操作を行います。

◆注意！

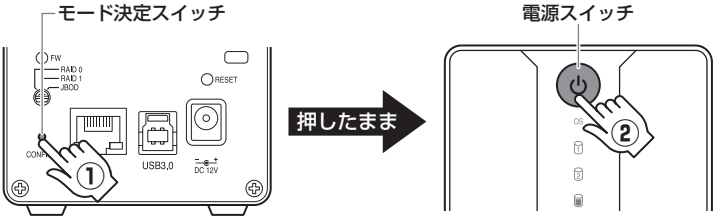
- モード変更をする際は、必ずHDDをPCから取り外した状態でモード変更を行ってください。モード変更を行った時点で一旦PCからの接続が切れますので、PCに接続したままモード変更を行うと、データ転送等でエラーが発生し、HDDの内容が消失または破損する場合があります。
- モード設定後、さらにモードを変更する場合は、必ずHDDのフォーマットを行ってください(P.44)。
  フォーマットを行わずモードを変更すると、正常に動作しなくなります。

1.



電源がOFFの状態で、RAIDセレクタスイッチを設定したいモードの位置に合わせます。

2. ボールペンの先や細い棒などを使ってモード決定スイッチを押したままにしながら(①)、電源スイッチをONにします(②)。



3. モード決定スイッチを押したまま10秒程度待ち、その後モード決定スイッチを離します。
変更後のRAIDモードは、設定画面(P.39)の「ディスク名」で確認することができます。
※各RAIDモードの説明→P.29～31

◆注意！
本製品ではHDDを別々に、独立して認識することができません。

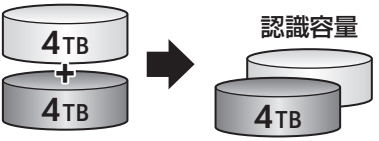
先頭ページへ

RAID 1（ミラーモード）

- 2台のHDDに同じデータを書き込んでデータの安全性を確保します。
- 同じ内容を2台のHDDに書き込むため、HDDが1台壊れてもデータが損なわれません。
- 転送速度はSTANDARD（個別認識モード）と同等になります。

◆注意！
2台のディスクに同じ内容を書き込むため、利用可能な容量は1台分になります。
※この構成ではHDDが2台必要です。

～「RAID 1」の模式図～



4TBのHDDを2台使用すると4TBのHDD1台のボリュームとして認識される。

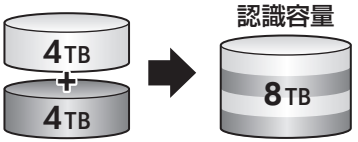
◆注意！
- 設定後、フォーマットを行う必要があります。すでにデータが入っているHDDを接続する場合、あらかじめデータのバックアップを別メディアに取る必要があります。
- RAIDはデータの安全性を確保するための機能ですが、100%のデータ保証をするものではありません。
  万が一（落雷、火災等の物理的損害、誤操作やウィルス等によるデータの改ざん、消去）に備え、重要なデータは別媒体へのバックアップをお勧めします。

【RAIDではない他のモードの説明】

RAID 0（ストライピングモード）

- データを２台のHDDに分散して、読み込み/書き込みを行います。
- HDDを並列で動作させるため、高速な読み込みや書き込みが可能になります。
- 高速な代わり、HDDのデータを保護する機能がないため、どちらか片方のHDDが故障するとデータは読み取れなくなります。
  データの保護を優先したい場合は、RAID 1（ミラーモード）の使用をお勧めします。

～「RAID 0」の模式図～



★センちゃんのRAID豆知識★

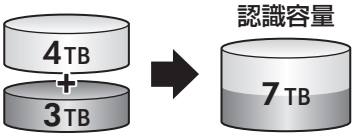
セ：どうしてRAID 0（ストライピング）はRAIDじゃないのにRAIDという名前がついているのラ？

→RAIDの略称のいちばん最初Redundant（余分、冗長）という言葉が表すとおり、RAIDは余分な容量を設けて信頼性を上げ、ひいてはデータの消失トラブルを防ぐためのものです。
こうした機能のないRAID 0（ストライピング）がRAIDと呼ばれるのは、RAID 3以降に使われている分散書き込み技術だからであるようです。
また、RAID 0は“ゼロ”なのでRAIDに満たない、という解釈もあるようです。

JBOD（コンバインモード）

- ２台のHDDを連結して１つのHDDに見せかけます。
- 各HDDをつないで１つのHDDに見せかけます。この構成に限り、異なる容量のHDDで構築してもHDDの容量が無駄になりません。
- RAID 0（ストライピングモード）と異なり、HDDの転送速度は向上しません。転送速度を向上させたい場合はRAID 0を使用してください。
- データ保護処理は行われませんので、どちらか片方のHDDが故障するとデータはすべて失われます。

～「JBOD」の模式図～



【RAIDのリビルド・対処方法】

HDDが故障した場合

HDDが故障して認識されなくなると、以下のような症状となります。

■RAID 0/JBODの場合

HDDとして認識されなくなります。また、認識されていないHDDのLEDが消灯、もしくは両方の使用容量インジケータが点滅します。

■RAID 1の場合

1台が故障して認識しなくなってもデータにアクセス可能です。
ただし、認識されていないHDDのアクセスLEDが消灯します。

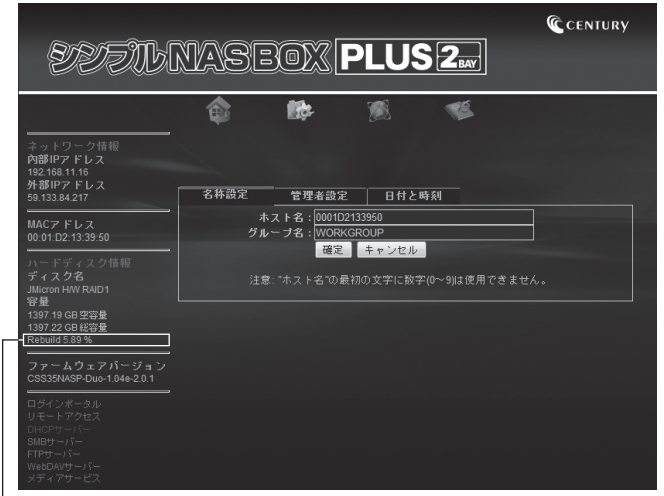
対処方法

■RAID 0/JBODの場合

故障したHDDを交換して、再度RAIDを構築しなおしてください。
RAID 0、JBODでは、構成するHDDが1台でも故障するとデータが破損します。
常にバックアップを心がけてください。

■RAID 1の場合

電源を切り、**故障したHDDと同じ、もしくは大きな容量のHDDと交換してください。**
リビルドが自動的に開始されます。リビルドの進捗状況は、設定画面左側の［ハードディスク情報］内に表示されます。



リビルド進捗状況

※リビルド進捗状況はブラウザの「ページの再読み込み」を行わないと更新されません。

【設定画面の開き方】

Windowsの場合

（1）付属のCD-ROMの中の「SDisk for WinOS」を開き、SDisk（拡張子を表示している場合は SDisk.exe）を開きます。

※NAS検索ツールはJREが必要です。
　インストールの方法は、http://www.java.com/ja/ をご覧ください。

（2）自動的にCSS35NAS2Bを検索し、現在のIPアドレス、ホスト名、ワークグループ名が表示されます。

※表示されていない場合、Serch Nextのボタンを押して表示させてください。

（3）Connect をクリックすると、ホーム画面が表示されます。（ホーム画面→P.37）

Macの場合

（1）付属のCD-ROMの中の「SDisk for MacOS」を開き、「SDisk.Jar」を開きます。

（2）自動的にCSS35NAS2Bを検索し、現在のIPアドレス、ホスト名、ワークグループ名が表示されます。

（3）Connect をクリックすると、ホーム画面が表示されます。（ホーム画面→P.37）

【設定画面の開き方】

インターネットの場合

インターネット経由での接続も可能です。
※これはポータルサービス(P.43)が有効になっている必要があります。

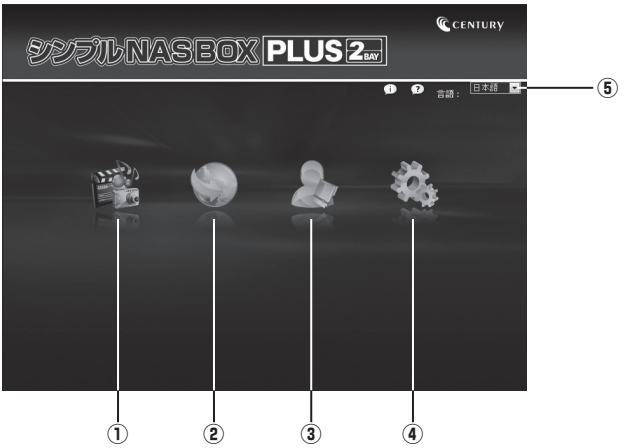
（1）ブラウザから、**http://myisharing.com** を開くと、ログインポータルが表示されます。

（2）サーバー名(P.50)を入力して エンター をクリックすると、ホーム画面が表示されます。(ホーム画面→P.37)

注意

ログインポータル、リモートアクセスが有効になっている場合、外部ネットワークからもアクセス可能となり、見知らぬ第三者のアクセスを許す可能性があります。
ログインポータルを有効にしている場合は、guestアカウントにパスワードをかけて独自のアカウントを作成し、そのアカウントでアクセスしてください(P.40)。

【ホーム画面の説明】



①フォルダ

Web画面上からファイルにアクセスするWebDavサービスにアクセスします。
WebDavサービスの使い方→P.51

②BitTrrent

ビットトレント設定を開きます。
※本製品ではサポート対象外となります。

③電子マニュアル

電子マニュアル(英語)を開きます。
インターネットに接続していないと電子マニュアルは開くことができません。
http://cloudlandisk.myakitio.com にアクセスしても閲覧することができます。

④設定

本NASの設定を行います。
※NASの設定→P.38

⑤言語

表示言語設定を変更できます。
※自動を設定すると、PCに設定してある言語設定を使用します。

【NASの設定】

ログイン方法

（1）ホーム画面の設定をクリックすると、ログイン画面が表示されます。
（2）ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されます。

工場出荷時（設定リセット時）のユーザー名とパスワード、

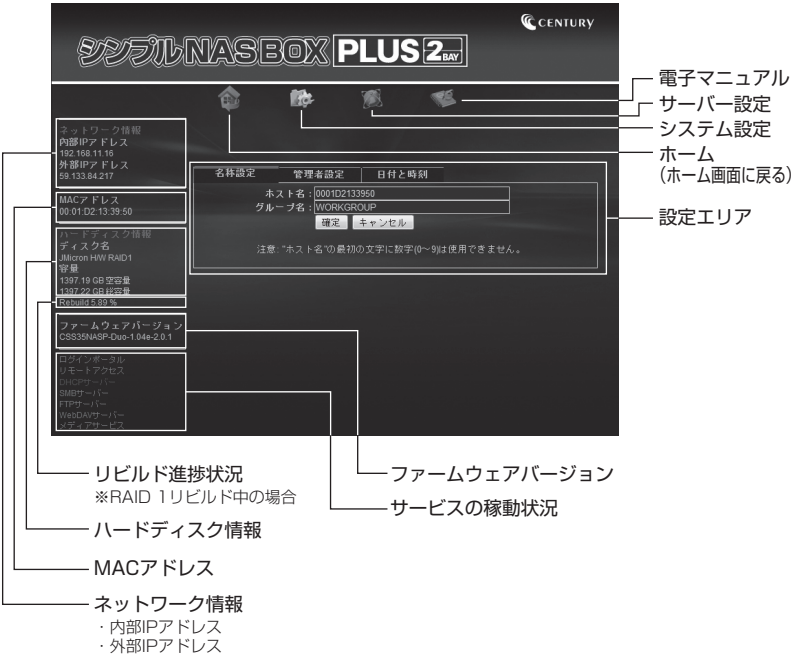
①ユーザー名：admin
②パスワード：admin

を入力して OK をクリックすると、設定画面に移ります。

【設定画面】

設定画面の操作方法

各アイコンをクリックするとサブメニューが下に表示されます。
サブメニューをクリックすると設定エリアの表示が切り替わり、設定変更が可能になります。
設定エリア内ではタブをクリックすることで設定項目を変更することができます。

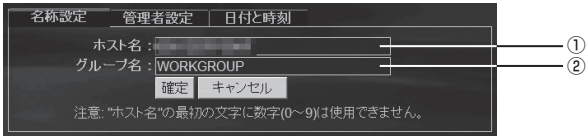


【設定画面】

システム情報

■名称設定

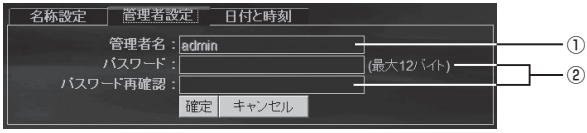
PCから認識されるホスト名とワークグループ名を設定します。
入力したら 確定 をクリックすると変更されます。



〈工場出荷時設定〉
①ホスト名：MACアドレスと同じ
②ワークグループ名：WORKGROUP
※ホスト名は半角英数字のみが使用可能です。
　また、デフォルトのホスト名以外では、ホスト名の先頭に数字を使用することができません。

■管理者設定

設定画面の管理者パスワードを変更します。



①管理者名“admin”は変更できません。
②パスワードおよびパスワード再確認欄に変更したいパスワードを入力して 確定 をクリックすると保存されます。
※パスワードを忘れてしまった場合は、リセットスイッチ（P.26）で元のパスワードに戻すことができますが、他の設定も工場出荷時設定に戻ってしまいますのでご注意ください。

注意

ログインポータル、リモートアクセスが有効になっている場合、外部ネットワークからもアクセス可能となり、見知らぬ第三者のアクセスを許す可能性があります。
ログインポータルを有効にしている場合は、guestアカウントにパスワードをかけて独自のアカウントを作成し、そのアカウントでアクセスしてください。

■日付と時刻

日付と時間を入力できます。

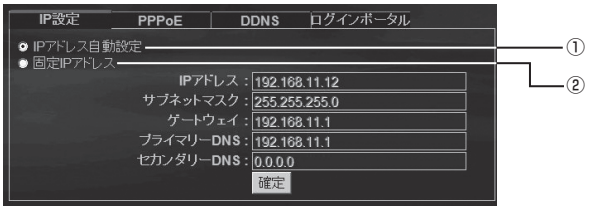
①更新方式が［自動］になっていると、SNTPサーバーと通信が可能な場合、SNTPサーバーの時間と同期されます。この場合手動では変更できません。
［手動］になっていると入力して変更が可能になります。

②［手動］の場合、［パソコンと同期］をクリックすると、使っているPCの時間がNASの時間にそのまま同期されます。

【設定画面】

インターネット

■IP設定



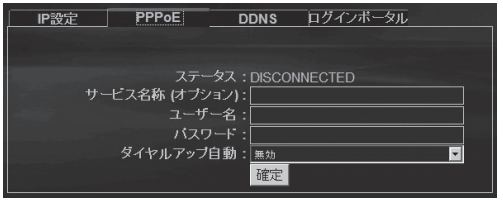
①工場出荷時は、DHCPサーバーからIPアドレスを取得する[IPアドレス自動設定]になっています。

②固定IPアドレスを変更する場合は、[固定IPアドレス]のラジオスイッチをクリックして、各項目を設定します。

※IPアドレスやその他の項目は、誤った設定をするとネットワーク障害の原因となります。この項目を変更する場合は、お使いのネットワークのネットワーク管理者にご相談の上、変更してください。

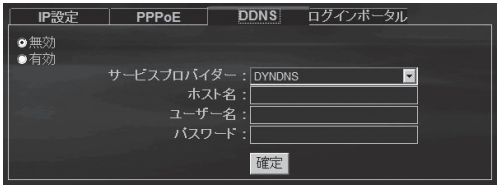
■PPPoE

この項目はサポート対象外となります。



■DDNS

この項目はサポート対象外となります。



先頭ページへ

■ログインポータル

外部からのデータアクセス可否を設定します。

注意

ログインポータル、リモートアクセスが有効になっている場合、外部ネットワークからもアクセス可能となり、見知らぬ第三者のアクセスを許す可能性があります。
ログインポータルを有効にしている場合は、guestアカウントにパスワードをかけて独自のアカウントを作成し、そのアカウントでアクセスしてください（P.40）。

【設定画面】

メンテナンス

■ディスク

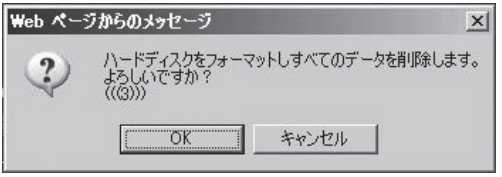
内蔵したHDDの初期化やスリープ時間の設定を行います。
※フォーマットがFAT64と表示されますが仕様となっております。

①スリープタイム(アイドル)
HDDスリープまでの無アクセス時間を設定します。
[無効]、[10分後]、[20分後]、[30分後]、[60分後] が設定できます。
※[無効]に設定するとスリープしません(出荷時設定)。

②ディスク初期化
内蔵したHDDを初期化します。

注意
HDDを初期化するとHDDの内容がすべて失われます。
初期化する前に、大事なデータのバックアップ忘れがないかを確認してください!

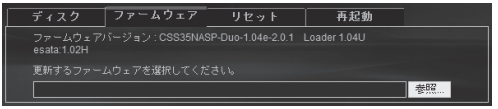
フォーマット開始 をクリックすると初期化ダイアログが3回表示されます。



3回すべて OK をクリックすると、HDDが初期化されます。

■ファームウェア

ファームウェアアップデート時に使用します。

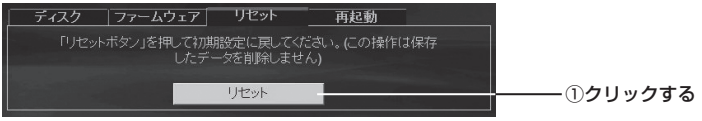


参照... をクリックしてファームウェアファイルを選択すると、アップデートダイアログが表示され、[OK]をクリックするとアップデートが開始されます。
手順はファームウェアアップデートによって異なる場合がありますので、アップデートファイルのダウンロードサイトの手順を確認してください。

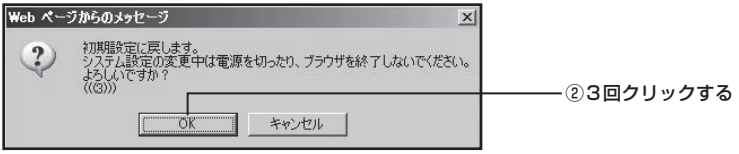
■リセット

設定を工場出荷時状態にリセットします。

※HDDの内容は初期化されません。設定のみ工場出荷時設定に戻ります。



① リセット をクリックすると、ダイアログが3回表示されます。



②3回すべて OK をクリックすると、NASが工場出荷設定に初期化されます。

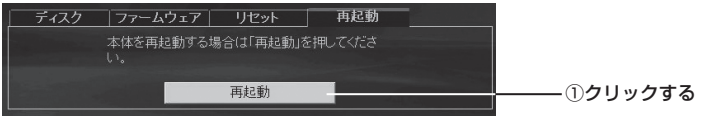
※登録したユーザーアカウントは削除されません。

【設定画面】

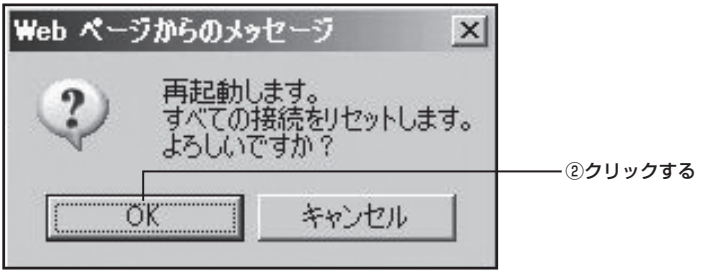
メンテナンス（つづき）

■再起動

NASを再起動します。



① 再起動 をクリックすると、ダイアログが表示されます。



② OK をクリックするとNASが再起動されます。
※すべての接続がリセットされますのでご注意ください。

サーバー設定

■サービス

各サービスの動作設定を行います。
ラジオスイッチで有効/無効を選択します。

①DHCPサーバー
本製品のDHCPサーバー稼動状態を表示します。
※通常は無効(OFF)で使用してください。有効にする場合はネットワーク管理者に相談した上でご利用ください。

②SMBサーバー
PCとのファイルサーバー機能の稼動状態を表示します。
※無効(OFF)にすると、ネットワーク経由でのファイルアクセスができなくなります。

③FTPサーバー
FTPサーバー機能の稼動状態を表示します。

④WebDAVサーバー
Webブラウザからのファイルアクセス機能の稼動状況を表示します。
WebDAVサーバーへのアクセスは、WebDAV機能の使い方(P.51)を参照してください。

⑤メディアサービス
DLNAクライアントからのアクセスや、iTunesからのアクセス機能の稼動状況を表示します。
無効にするとこれらのクライアントソフトやデバイスからのアクセスができなくなります。

【設定画面】

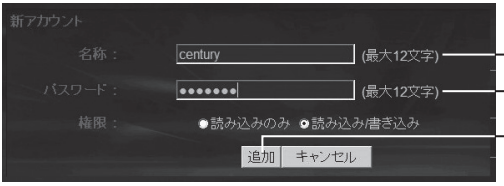
サーバー設定(つづき)

■共有管理(アカウント)

WebDAVやPCからアクセスする際のユーザーとパスワードを追加/削除します。
またユーザーごとの有効/無効を設定できます。
※guestアカウントは削除できません。無効にすることは可能です。

①アカウント有効/無効の切り替え方
ユーザー名の横の[ステータス]の有効または無効をクリックすると切り替わります。

②ユーザーの追加方法
右下の ⊕ マークをクリックすると新アカウント画面が表示されますので、ユーザー名(名称)とパスワードを入力します。



※双方共に1～12文字の半角英数のみ利用可能です。
権限を設定し(初期設定は読み込み/書き込み可能)、追加 をクリックすると追加されます。

ユーザーを削除する場合は、ユーザーの横の マークをクリックします。

クリックする

注意

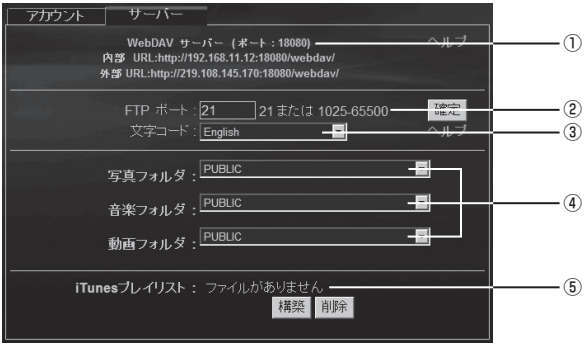
ログインポータル、リモートアクセスが有効になっている場合、外部ネットワークからもアクセス可能となり、見知らぬ第三者のアクセスを許す可能性があります。
ログインポータルを有効にしている場合は、guestアカウントにパスワードをかけて独自のアカウントを作成し、そのアカウントでアクセスしてください（P.40）。

【設定画面】

サーバー設定（つづき）

■サーバー

各サーバーの各種情報と設定が可能です。



①WebDAVサーバー
WebDAVサーバーにアクセスするURLが表示されます。
- 内部：自宅内のLANで接続する場合のURL
- 外部：外出先から接続する場合のURL

②FTPポート
FTP通信に使用するポート

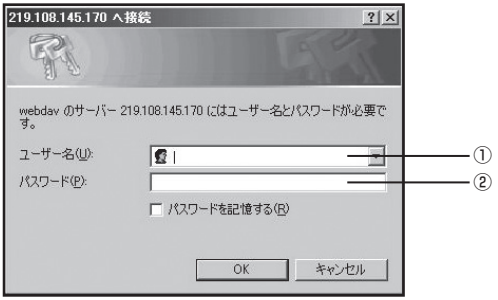
③文字コード
FTP通信時の文字コード
※通常は変更しないでください。

④写真フォルダ/音楽フォルダ/動画フォルダ
DLNAクライアントが参照するフォルダを指定します。
※iTunesクライアント機能では音楽フォルダのみ使用します。

⑤iTunesプレイリスト
iTunesプレイリストを構築します。

■WebDAV機能の使い方

ホーム画面(P.37)から[フォルダ]をクリックすると認証ダイアログが表示されます。



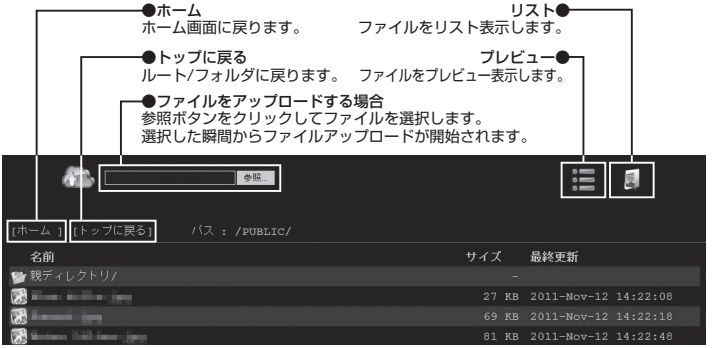
ユーザー名とパスワードを入力します。

①ユーザー名：guest(出荷時設定ではguestが有効なので)

②パスワード：なし(入力しない)

でログインすることができます。

ログインすると通常「PUBLIC」フォルダが表示されますので、クリックしてフォルダの中に入ります。



【スマートフォンでの使い方】

iPhone、iPad、iPod touchの場合

■専用アプリケーションのインストール

※インストールには iOS 4.3 以降を搭載した iPhone、iPad、iPod touch が必要です。
※App Store からインストールするため、Apple ID が必要です。
App Store で“CloudSync”または“MyiSharing CloudSync”を検索し“MyiSharing CloudSync”をインストールしてください。
※iPad用ソフトウェアとiPhone用ソフトウェアがそれぞれ別々にあります。

注意

必ず“MyiSharing CloudSync”をインストールしてください。
MyiSharingの付いていない“CloudSync”をインストールすると、正しく動作しない可能性があります。

■MyiSharing CloudSyncの使い方

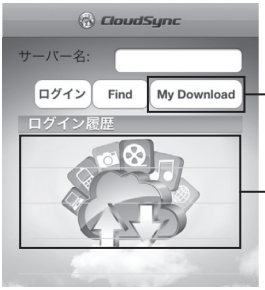
撮影した画像やダウンロードした音楽データをアップロード/ダウンロードすることができます。
お使いの機種によって、アップロードできるメディアが異なります。

- iPhone、iPad 2：撮影した静止画/動画、Web等で保存した画像、ボイスメモ
- iPad、iPod touch：Web等で保存した画像、ボイスメモ

〈開き方〉

Cloudsyncアイコンをタッチして開きます。

■ログイン画面



My Download
サーバーに接続せずに、前回ダウンロードしたデータを参照するモードです。
これにはサーバーへの接続が必要ありません。

ここに表示されるログイン履歴をタッチしても、サーバー名の指定ができます。

サーバー名の指定には2種類の方法があります。
※これはポータルサービス(P.43)が有効になっている必要があります。

①WiFi接続で同じネットワーク内に本製品がいる場合
→ Find を押すと接続可能なCSS35NAS2Bがリストで表示されます。

②3G接続や同じネットワークにいない場合
→サーバー名(P.50)を入力します。

サーバー名を指定したら ログイン をタップします。

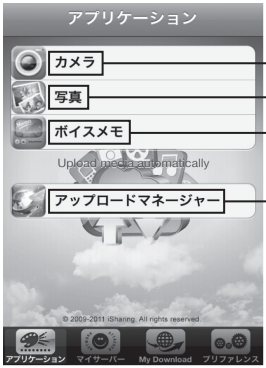
工場出荷時のユーザー名とパスワードは、
①ユーザー名：guest
②パスワード：空欄（入力なし）
です。
入力したら[OK]をタップします。

【スマートフォンでの使い方】

iPhone、iPad、iPod touchの場合（つづき）

■アプリケーション画面

主にデータのアップロードに利用します。



カメラ
静止画を撮影してそのデータをサーバーにアップロードします。

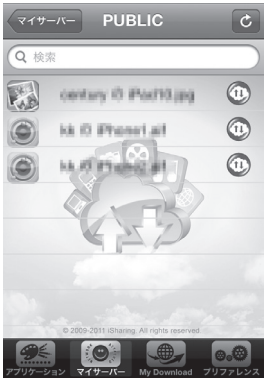
写真
保存してある画像をサーバーにアップロードします。

ボイスメモ
ボイスメモをアップロードします。

アップロードマネージャー
現在アップロード中のデータの確認/中止を行います。

■マイサーバー

主にデータのダウンロードや閲覧に利用します。

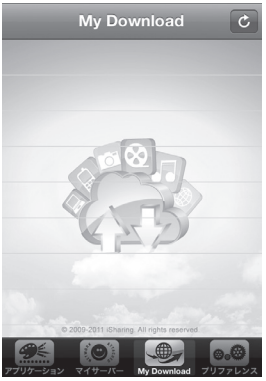


ファイル名をタップすると、保存してあるファイルを開きます。回線やファイルの大きさ、種類によっては開くことができなかったり、開くまでに長い時間のかかる場合があります。

ファイル名の横の スイッチをタップすると、データをダウンロードします。
ここでダウンロードしたデータは、My Downloadで参照可能です。

■My Download

マイサーバーでダウンロードしたデータの閲覧に使用します。



ファイル名の横の スイッチをタップすると、ダウンロードしたデータを削除します。

■プリファレンス

各種設定を行います。

キャプチャ
カメラ(P.54)の画質を設定します。

表示間隔
スライドショーの表示間隔設定を行います。

保存先の選択
各メディアの保存先選択を行います。

ログアウト
サーバーからログアウトします。

【スマートフォンでの使い方】

Androidの場合

■専用アプリケーションのインストール

※インストールには Android OS 2.2 以降を搭載したスマートフォンが必要です。
※Google Play からインストールを行うため、gmailアカウントが必要です。
Google Playで“CloudSync”または“MyiSharing CloudSync”を検索し、“MyiSharing CloudSync”をインストールしてください。

注意

必ず“MyiSharing CloudSync”をインストールしてください。MyiSharingの付いていない“CloudSync”をインストールすると、正しく動作しない可能性があります。

■MyiSharing CloudSyncの使い方

撮影した画像やダウンロードした音楽データをアップロード/ダウンロードすることができます。
お使いの機種によって、アップロードできるメディアが異なります。

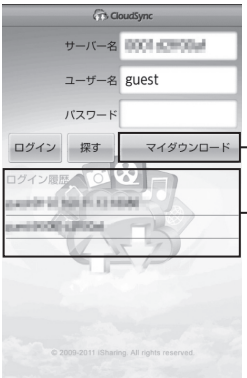
- **iPhone、iPad2：撮影した静止画/動画、Web等で保存した画像、ボイスメモ**
- **iPad、iPod touch：Web等で保存した画像、ボイスメモ**

〈開き方〉

Cloudsyncアイコンをタッチして開きます。

※Androidの場合、機種によってアプリケーションインストール後の起動場所が異なります。
通常はメインメニューの中から選択します。詳しくは、お使いの端末の取扱説明書をご確認ください。

■ログイン画面



サーバーに接続せずに、前回ダウンロードしたデータを参照するモードです。
これにはサーバーへの接続が必要ありません。

ログイン履歴をタッチしてもサーバー名の指定ができます。

サーバー名の指定には2種類の方法があります。

①WiFi接続で同じネットワーク内に本製品がいる場合

→ 探す を押すと接続可能なCSS35NAS2Bがリストで表示されます。
ただし、この方法だとポートが指定されませんので、手動でポートを指定する必要があります。

②3G接続や同じネットワークにいない場合

→サーバー名(P.50)を入力します。
※これはポータルサービス(P.43)が有効になっている必要があります。

サーバー名を指定したら ログイン をタップします。
工場出荷時のユーザー名とパスワードは、

- **ユーザー名：guest**
- **パスワード：空欄(入力なし)**

です。
入力したら[OK]をタップします。

【スマートフォンでの使い方】

Androidの場合（つづき）

■アプリケーション画面

主にデータのアップロードに利用します。

カメラ
静止画を撮影してそのデータをサーバーにアップロードします。

ビデオレコーダー
動作を撮影してそのデータをサーバーにアップロードします。

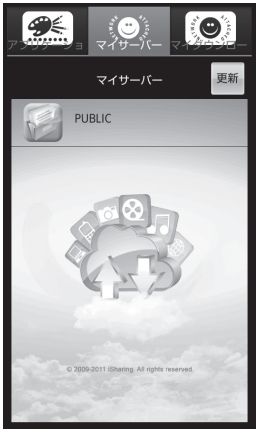
写真
保存してある画像をサーバーにアップロードします。

ビデオ
保存してある動画をサーバーにアップロードします。

アップロードマネージャー
現在アップロード中のデータの確認/中止を行います。

■マイサーバー

主にデータのダウンロードや閲覧に利用します。



ファイル名の横の スイッチをタップすると、データをダウンロードします。
ここでダウンロードしたデータは、マイダウンロードで参照可能です。
ダウンロードしたデータのみ、表示可能です。

■マイダウンロード

マイサーバーでダウンロードしたデータの閲覧に使用します。

ファイル名の横の スイッチをタップすると、ダウンロードしたデータを削除します。

■設定

メニュースイッチを押すと設定メニューが表示されます。

スライドショーセッティング
スライドショーの表示間隔設定を行います。

保存先の選択
現在開発中で使用できません。

ログアウト
サーバーからログアウトします。

【活用方法例】

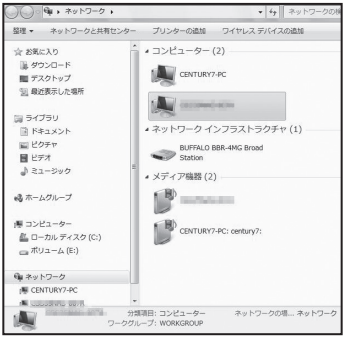
ネットワークストレージとして使用する：Windows 7の場合

同じワークグループが設定してあるのであれば、ネットワークの中にホスト名が表示されます。

※表示されない場合、本製品ならびにPCのネットワークのワークグループが同じかどうかを確認してください。

PCのワークグループの確認方法「コンピュータ」を右クリックで「プロパティ」を開き、“コンピュータ名、ドメインおよびワークグループの設定”を確認してください。

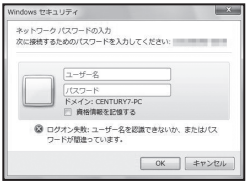
1.



サーバー名（P.50）をダブルクリックして開きます。

※Windowsでの利用時は、ワークグループ名にもご注意ください。

2.



ユーザー名とパスワードを要求されますので入力します。

先頭ページへ

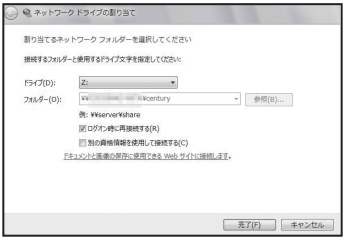
3.

利用できる共有フォルダが表示されます。

4.

このままでは使いにくいので、ネットワークドライブに割り当てましょう。
フォルダを右クリックして“ネットワークドライブの割り当て”を選択します。

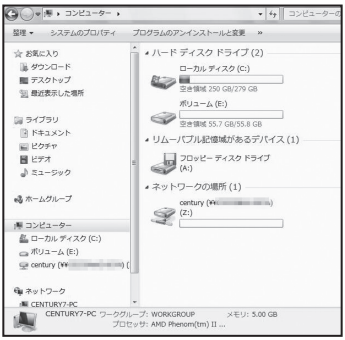
5.



ネットワークドライブの割り当てウインドウが選択されます。

完了(F) をクリックします。

6.



マイコンピュータにCSS35NAS2Bのフォルダが“Z：ドライブ”として登録されました。

先頭ページへ

【活用方法例】

ネットワークストレージとして使用する：Macの場合

1.

メニューバーから［移動］→［サーバーへ接続...］を選びます。

2.

“SDisk.jar”を起動してIPアドレスを確認し、サーバーアドレスのところに
smb://IPアドレス
と入力します。

画像の場合は本製品のIPアドレスが
192.168.11.14
なので、
smb://192.168.11.14
と入力しています。

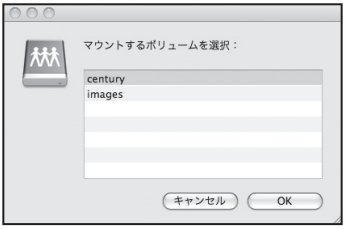
入力したら 接続 をクリックします。

3.

ユーザー名とパスワードを要求されますので入力します。

先頭ページへ

4.



マウント可能なボリュームリストが表示されます。
選択して OK をクリックするとマウントします。

【活用方法例】

iTunesサーバーとして使用する

メディアサーバー機能が有効であれば、iTunesの「共有」に表示され、その中のMP3データが再生可能です。

※再生可能なのはMP3音楽ファイルのみです。動画などの再生には利用できません。

※再生するMP3データは、[共有管理]→[サーバー](P.50)の「音楽フォルダ」に指定したフォルダ内のファイルになります。

※ウィルス対策ソフトやファイアウォールの設定によっては利用できない場合があります。
あらかじめご了承ください。

メディアサーバーとして使用する

DLNA再生対応機器から動画、写真、音楽を閲覧できます。
操作方法は各対応機器の取扱説明書を参照してください。

※再生できるファイルは機器によっても異なりますのでご注意ください。

USB外付けHDDとして使用する

外付けUSB3.0 HDDとしても利用可能です。

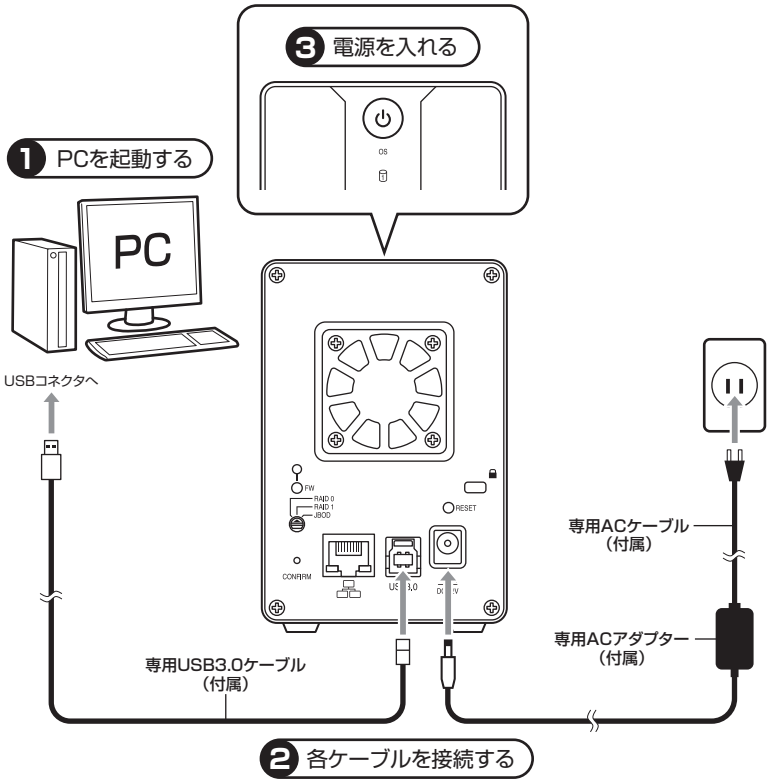
※Mac OSで利用する場合は、Mac OS 10.6以降が必要です。

※フォーマットはLAN接続を行って、設定画面から行ってください。(P.44)

※本製品の電源ON後にLAN接続からUSB接続に切り替える場合は、再起動(P.46)を行ってからLANケーブルを取り外し、再度USBケーブルを接続してください。

※LANとUSBの同時接続はできません。

最初からUSB接続で起動したい場合は、すでに起動してあるPCとUSBケーブルで接続したあとに本製品の電源を入れてください。



【FAQ】

Q：SDiskにてCSS35NAS2Bが表示されないのですが…

A：JAVAのアップデートを行なって、最新のバージョンかどうかをご確認ください。
改善されない場合、CSS35NAS2Bのリセットをお試しください。

Q：管理者パスワードを忘れてしまったのですが…

A：リセット(P.26)を行って管理者パスワードをリセットしてください。

Q：WindowsやMacで使用していたデータの入ったHDDをそのまま使うことはできますか？

A：できません。
使用する前にフォーマットする必要がありますので、あらかじめデータを別のメディアに退避しておく必要がございます。

Q：OSが混在しているLAN環境でも使用できますか？

A：使用できます。
ただし、違うOSどうしでファイルを共有する際に、ファイル名に機種依存文字を使用していると文字化けが発生しますのでご注意ください。

Q：ネットワークの中に本製品が表示されないのですが…

A：電源を入れた直後や繋いだばかりのときは、DNSやドメインマスタの情報更新に若干時間がかかる場合があります。しばらく待ってからお試しください。
また、本製品のIPアドレスを直接入力するとアクセスできます。
※Windows 7の場合
[スタート]→[プログラムとファイルの検索]の枠内に、先頭に「¥¥」、続けてIPアドレスを入力します。
例)「 ¥¥192.168.11.3 」

Q：iTunesから認識されないのですが…

A：お使いのファイアウォールやウィルス対策ソフトウェアが iTunes との通信を阻害している場合があります。
一時的にこれらのソフトを停止するか、ソフトウェアの製造元にご相談ください。

Q：MacのTimeMachineのバックアップに使えますか？

A：残念ながらバックアップには使用できません。

Q：外部ネットワーク（外出先）から接続を行うと、CSS35NAS2Bにアクセスが行なえないのですが…

A：ログインポータルの設定（P.43）が有効になっているかをご確認ください。
また、CSS35NAS2Bはご使用のルーターのUPnP機能を使用しています。
ご使用のルーターによってはこの機能に対応していない場合もございます。
あらかじめご了承ください。

Q：MyiSharing CloudSync以外のアプリを使って通信ができない

A：MyiSharing CloudSync以外のアプリケーションに関してはサポート対象外となります。

Q：USBケーブルとLANケーブルをそれぞれ2台のパソコンに同時接続してアクセス可能ですか？

A：できません。どちらかのケーブルを1つ選択して接続する必要があります。
なお、LAN接続の場合、2台のパソコンが同じLAN内に接続されていれば、LAN経由で同時にアクセスが行えます。

Q：共有フォルダにアクセスしようとしても、ユーザーとパスワードの入力画面から先に進めないのですが…

A：管理ユーザーアカウントのユーザー名、パスワードを入力していませんか？
共有管理のアカウント設定（P.48）を再度ご確認ください。

Q：DTCP-IPに対応していますか？

A：対応していません。

Q：ジャンボパケットに対応していますか？

A：対応していません

Q：LANで地デジレコーダー等に接続して録画が可能ですか？

A：対応していません。

【FAQ】

Q：DLNAで非可逆圧縮の音声（wave、flac等）は使用可能ですか？

A：音声はMP3のみが対応となり、ロスレスオーディオメディアには対応しておりません。

Q：Sdisk.exeを起動すると「Java has not been found on your computer. Do You want to download it ?」とエラーが表示されてしまう

A：お使いのPCにJREがインストールされていません。
http://www.java.com/ja/ からJREをダウンロードし、インストールを行ってください。

Q：HDDのスリープ時にはLEDが消灯しますか？

A：消灯しません。

Q：LAN接続時、1ファイルで127GB以上のサイズのファイルを扱えない

A：仕様となります。127GB以下のファイルをご使用いただくか、USB接続でご使用ください。

Q：特定のOSバックアップツールやファイルコピーツールを使用した場合のみ、エラーが発生してしまう

A：ソフト側の仕様により、動作に支障が出る場合もございます。違うソフトでお試しください。

Q：LAN接続時のアクセススピードが10MB/sぐらいの速度になってしまう

A：ご使用のネットワーク環境の中に10/100Baseのハブは含まれていませんか？
10/100Baseのハブを通すと速度が低下してしまいます。

Q：iTunesサーバー機能で動画が扱えない

A：仕様となります。iTunesサーバー機能ではMP3のみが使用可能となります。

Q：OSが混在しているLAN環境でも使用できますか？

A：使用できます。ただし、違うOSどうしでファイルを共有する際に、ファイル名に機種依存文字を使用していると、相手のOS上で文字化けが発生しますのでご注意ください。

Q：電子マニュアル内の設定項目と違う部分がある

A：開発段階のマニュアルのため、一部製品と設定項目が異なる場合がございます。
ご了承ください。

Q：着脱可能回数は何回ですか？

A：本製品に装備されているコネクタの耐久性は約10,000回となっております。
HDD側にもそれぞれ同様の耐久性が設定されておりますので、くわしい着脱可能回数はHDDの製造メーカーにお問い合わせください。

Q：HDDにアクセスしていないのに、ステータス/アクセスLEDが点滅します。故障ですか？

A：ウイルススキャンや各ソフトのアップデートチェック、インデックス作成等、OSのバックグラウンド処理で本製品のHDDにアクセスする場合があります。

Q：S.M.A.R.T情報が表示されない

A：S.M.A.R.Tを参照するソフトによって対応が大きく異なり、表示できるものとできないものがあるようです。
弊社では表示に対応しているツールの提供はございません。

Q：Windows ServerやLinuxで動作しますか？

A：サポート対象外となります。
サポート対象外のOSに関しては弊社で動作確認を行っておらず、ご使用に関しては自己責任での範囲となります。
ドライバの提供や操作方法等はご案内できかねます。

Q：横置きでの使用は可能ですか？

A：本製品は『縦置き専用』です。横置きでの使用は推奨いたしません。

【サポートのご案内】

【販売・サポート】
株式会社 センチュリー

CENTURY

■サポートセンター
〒277-0872　千葉県柏市十余二翁原(とよふたおきなはら)240-9

【TEL】04-7142-7533
（平日 午前10時～午後5時まで）

【FAX】04-7142-7285
【Web】http://www.century.co.jp
【Mail】support@century.co.jp

～お願い～
修理をご依頼の場合、必ず事前にサポートセンターにて受付を行ってから発送をお願いいたします。

アンケートにご協力をお願いします

センチュリー商品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
今後の商品開発などの参考にさせていただきますので、下記URLにてアンケートの入力をお願いいたします。
どうぞよろしくお願いいたします。

～弊社商品につきましてのアンケート～

【URL】http://www.century.co.jp/que.html

― 本書に関するご注意 ―

1．本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
2．本書の内容については、将来予告なく変更することがあります。
3．本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がございましたらご連絡ください。
4．運用した結果の影響については、【3.】項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5．本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはセンチュリーおよびセンチュリー指定のもの以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

※記載の各会社名・製品名は各社の商標または登録商標です。

※This product version is for internal Japanese distribution only.
It comes with drivers and manuals in Japanese.
This version of our product will not work with other languages operating system and we provide help support desk in Japanese only.

先頭ページへ